

熱戦！世界バレーに続け

千厩地域バレーボール小学生大会

千厩町体育協会などが主催する千厩地域バレーボール小学生大会は12月10日、男子6チーム、女子5チームが出場し、千厩体育館などで行われました。同大会はバレーボールを通じて小学生の親睦交流と体力向上などを目的に開催しているもので今年で23回目。家族や担任の先生などが声援を送る中、子どもたちは練習の成果を発揮していました。

結果は次のとおりです。【男子の部】①小梨VBS②レッドビーンズ③磐清水キッズ③ミニクルズ【女子の部】①小梨VBS②奥玉ファイターズ③磐清水エンジェル③千厩W1コメツ



息の合ったコンビネーションでアタック



上かにはつとをおいしくいただきます
したモクスガニ。成長すると甲羅が
8センチくらいになります

川の恵みに舌鼓

「かにばとまつり」開催

「かにばとまつり」は11月25日、道の駅かわさき特設会場で催され、秋晴れの下、地場産野菜、特産里芋・ツルクビを使った「かにばと」約300食が、訪れた買い物客などに無料で振る舞われました。幼児も大人も野菜とカニのうまみたっぷりの郷土料理を堪能しました。

古くから豊かな川の恵みとして食されてきた「モクスガニ」を地域の資源として守り育て食文化の活性化を図ろうと、NPO法人北上川流域河川生態系保全協会（伊藤靖一理事長、会員14人）では、モクスガニの養殖、放流を中心とした活動を行っています。

モクスガニは、はさみの部分にふさふさした軟毛が密生しているのが特徴で、県内では北上川や支流で捕獲され、鍋料理などで珍重されてきました。

同会は平成8年から県の活性化事業調整費や旧村の補助を受けてモクスガニの種苗生産・育成の研究に取り組み、平成10年度ふ化に成功。今年も5月中旬にふ化し、6月中旬に4万匹の稚ガニを生産。「カニハウス（飼育用水槽を設置したビニールハウス）」で10月ごろまで飼育し、約2万匹を砂鉄川や千厩川に放流、約1万匹を稚ガニで販売しました。残りの稚ガニのうち3000匹は育成施設「カニ牧場」へ移動し、2、3年飼育後「モクスガニスープ」の原料やイベントなどの材料として使用します。「モクスガニスープ」などの加工品は道の駅かわさきで販売し、その収益金も放流事業に役立てています。



第1便発送を祝いテープカットする関係者

ふるさとの味と香りをお届け

大東うぐいす便発送式

大東観光物産協議会（千葉政吾会長）が取り扱っている「大東うぐいす便」の発送式は12月8日、摺沢のJAいわい東東部園芸センターで行われ、第1便603個が全国に発送されました。

大東うぐいす便は、大東地域の特産品を詰め合わせた「ふるさとの味と香り」を2回に分けて全国に発送しているものです。今年は昨年までのコースに、有機栽培米や手づくりみそなどの「自然な食卓コース」、しぼりたての菜種油とリンゴジュースが入った「健康しぼりたてコース」が新たに加わった、全11コースを準備し、約930個を受注しました。

室根のリンゴが大好評

吉川市民まつり

友好提携をしている埼玉県吉川市の「吉川市民まつり」は11月19日、同市で催され、室根地域から29人が参加。時折雨が降る天候でしたが、パレード、物産販売、スポーツでまつりを盛り上げ交流を深めました。

物産販売ではリンゴが人気で、いち早く完売するなど大好評でした。

例年実施しているスポーツ交流に、今年度は空手道協会（小野寺規夫会長）が訪問。合同練習、型の披露、交流試合など、スポーツを介して交流を深めました。



たくさんの人でにぎわった物産販売



「ぼくたちの宝物」と力強く除幕する地域の子どもたち

史跡保護で地域おこし

「藤壺の滝」「源頼朝公墓」案内碑除幕式

東山町田河津の矢ノ森史跡保存会（佐藤惣之助会長）は11月12日、地元の名所「矢ノ森八景」である「藤壺の滝」と「源頼朝公墓」案内碑の除幕式を行いました。藤原秀衡公ゆかりの金山坑で藤の花と滝が名所である「藤壺の滝」の案内碑は、地域おこし事業「金と黄色のいちょうの里づくり」で整備したもの。滝の横にある金山坑内の洞窟にゲンジボタル電球を点灯し、洞窟内をほんのり明るく照らしました。

除幕後、集会施設「愛花夢館」で祝賀会が行われ、あずき、くるみ、ごま、ずんだ、納豆の「五色もち」を食べて完成を喜び合いました。

胸に迫る歌と踊り

ミュージカル「異国の丘」

劇団四季ミュージカル「異国の丘」は12月18日、一関文化センターで上演されました。舞台は、日本の名家の息子でありながら当時の敵国・中国の美貌の令嬢と恋に落ち、命をかけて和平工作に身を投じたものの、戦後はシベリアに抑留され異国の地で帰らぬ人となった主人公を通じ、戦争の悲劇を描いたもの。

静まり返った客席では時折すすり泣きが聞こえ、深い悲しみに包まれた会場に響き渡るクライマックス「明日への祈り」が終わると、出演者に大きな拍手が送られていました。



極寒のシベリアに抑留された兵たちが祖国日本を思い歌う場面



4月に油島小学校に入学する6人の園児が元気に自己紹介

春が待ち遠しいね！

幼稚園児が小学校を訪問

いずみの森幼稚園（阿部祐悦園長・園児84人）の年長組35人は12月8日、油島小学校を訪問しました。同園では翌年に小学校へ入学する5歳児を対象に、入学先の学校を順次訪問しており、この日は7校目の最後の見学として行われたものです。

園児を迎えた同小では1年生との交流が行われ、校内を見学した後体育館でゲームを楽しみました。

4月に同小に入学する園児6人はちょっと緊張の様子でしたが、1年生の優しい対応に気持ちもほぐれ、4月の入学に大きく夢が膨らんだ様子でした。